

# 第174回中小企業景況調査

2023年10～12月期

青森県版

2024年2月

青森県商工会連合会

# 目次

## I 調査要領

- 1. 調査時点及び調査対象期間 ..... 1
- 2. 調査対象 ..... 1
- 3. 調査方法 ..... 1
- 4. 回収状況 ..... 1

## II 要約 ..... 2

- 1. 今期の景況 ..... 2
- 2. 来期の見通し ..... 2

## II 概況 ..... 3

### 1. グラフ

- 業況判断・売上額・製品商品在庫の動向 ..... 4
- 経常利益・資金繰り・従業員数の動向 ..... 5

### 2. 表

- 業況判断 ..... 6
- 売上額、売上(加工)数量・客数 ..... 7
- 輸出額・在庫水準・価格(仕入れ単価、売上単価) ..... 8
- 経常利益・金融(資金繰り・長短借入難易度・借入金利) ..... 9
- 従業員数・従業員数過不足 ..... 10
- 設備投資実施割合・生産設備過不足 ..... 11
- 経営上の問題点 ..... 12

# I 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2023年11月15日  
(2) 調査対象期間 2023年10～12月期実績及び2024年1～3月期見通し  
について調査した。

## 2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業、卸売業については、資本金1億円以下又は従業員100人以下の企業、小売業については、資本金5千万円以下又は従業員50人以下の企業、サービス業については、資本金5千万円以下又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(なお、各産業のうち「小規模」とあるのは、製造業及び建設業における従業員20人以下の、卸売業、小売業及びサービス業における従業員5人以下の企業規模を指し、その他は「中規模」と区分した。)

## 3. 調査方法

原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。

## 4. 回収状況

288企業のうち、262企業の回答を得た（有効回答率 91.0%）。

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	53	( 18.4 )	49	( 18.7 )	92.5
建設業	37	( 12.8 )	37	( 14.1 )	100.0
卸売業	20	( 6.9 )	17	( 6.5 )	85.0
小売業	72	( 25.0 )	65	( 24.8 )	90.3
サービス業	106	( 36.9 )	94	( 35.9 )	88.7
合計	288	( 100.0 )	262	( 100.0 )	91.0

注：( ) 内は構成比 (%)

## Ⅱ 要 約

### 1. 今期の景況

2023年10～12月期の全産業の業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）は、前年同期比（2022年10～12月期）の△34.5から△27.1と+7.4と上向いた。産業別に見ていくと、小売業+11.7（△53.0↗△41.3）、サービス業+7.4（△29.3↗△21.7）、卸売業+5.2（△11.1↗△5.9）、建設業+4.6（△23.5↗△18.9）、製造業+2.7（△35.3↗△32.6）となった。全産業の業況水準判断DI（今期の水準「良い」－「悪い」）は、前年同期（2022年10～12月期）の△34.0、前期（2023年7～9月期）の△28.9に対して、今期は△25.0やや上向いた。産業別に前年同期と比して見ていくと、建設業+24.0（△29.4↗△5.4）、製造業+17.5（△44.0↗△26.5）、+小売業10.2（△49.2↗△39.0）と好転したが、卸売業0.0（0.0→0.0）と横ばい、サービス業は-1.1（△25.8↘△26.9）となり、わずかに悪化した。売上額DI（前年同期比「増加」－「減少」）については、全産業では前年同期△18.3に対して、今期は△16.4となり+1.9と微増であった。産業別では、前年同期と比して、小売業+17.8（△36.3↗△18.5）、建設業+7.6（△26.6↗△19.0）、サービス業+2.2（△9.7↗3.2）の順で増加したが、製造業は-6.8（△19.7↘△26.5）と減少、卸売業は-46.0（21.0↘△25.0）と大きく減少した。経常利益DI（前年同期比「好転」－「悪化」）においては、全産業では、前年同期△39.0、前期△31.8に対して今期は△34.5となった。産業別では、前年同期で比べると建設業+28.6（△52.9↗△24.3）、小売業+20.0（△58.5↗△38.5）、サービス業+7.0（△43.5↗△36.5）、製造業+5.3（△42.0↗△36.7）の順で低調ながらも好転した。卸売業は-6.9（△16.6↗△23.5）であった。

(注) DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

なお、前期比（季調済）は、X12-ARIMA (X11デフォルト) により季節調整を行った値である。

### 2. 来期の見通し

全体としては、緩やかに回復傾向にあるものの、決してアフターコロナへの期待感を上回る状況とは言えない状況が続いている。仕入単価DIでは、前年同期、前期と比べると上昇傾向やや落ち着きが出てきた感はあるが、いまだに高い水準であることには変わりがない。売上単価DIでは、前期比では卸売業を除いて低下傾向となった。

新型コロナ蔓延の頃と比べ、緩やかに回復傾向にあると判断でき、わずかながらでも好転や改善もみられる。しかしながら、原材料価格や仕入価格の上昇、人件費の増加と人手不足が懸念される。また、年始の能登半島地震や羽田空港での航空機事故、政局の先行きなども景気回復への懸念材料となる。懸念材料が多く、好材料が見つからない状況、そして低成長ないし横ばいの傾向は、来期も続くものと考えられる。

小売業、サービス業においては、売上単価と仕入単価を比べると売上単価が上回っており、交易条件の改善が見られ、価格転嫁が進んだこと、客数の増加、在庫過剰感が和らいだことなどが好転の要因と見られる。製造業については、売上（加工）数量の減少と輸出の低調、仕入単価の上昇に対して売上単価の上昇が上回ったことなど、売上の不調とコスト高による利益が伸び悩んだといったところである。従業員数DIを見ると、建設を除き前年同期と比べ微増となっており、人手不足感はやや和らいだものの、従業員数過不足DIでは、全産業において人手不足感は依然として続いている。コロナ禍からのリバウンド需要には期待したいところではあるが、景気回復のテンポを上げる要因よりも、コスト高、人手不足、国内外の情勢など様々なリスク要因を懸念しなければならず、来期も我慢の時期が続くものと予想される。

# Ⅲ 概 況

全産業（2023年10～12月期）

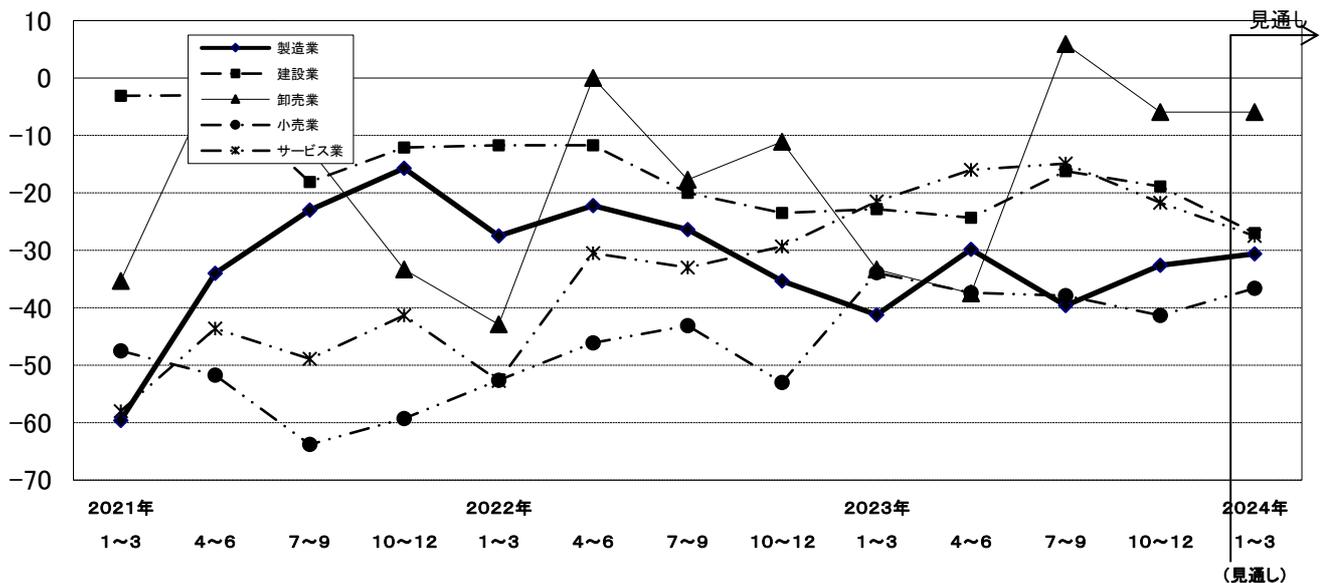
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
2022年10～12月実績	△ 34.5	△ 30.6	△ 34.0	△ 18.3	△ 23.1	4.7	△ 46.3	△ 20.0	△ 21.4	△ 26.3
2023年1～3月実績	△ 29.4	△ 25.4	△ 37.1	△ 28.0	△ 20.5	1.6	△ 42.3	△ 24.1	△ 19.8	△ 26.9
2023年4～6月実績	△ 26.3	△ 22.5	△ 23.6	△ 10.1	△ 13.6	5.7	△ 35.4	△ 19.4	△ 16.4	△ 29.4
2023年7～9月実績	△ 24.1	△ 19.4	△ 28.9	△ 14.1	△ 12.1	1.6	△ 31.8	△ 16.5	△ 15.9	△ 34.3
2023年10～12月実績	△ 27.1	△ 29.6	△ 25.0	△ 16.4	△ 18.5	0.8	△ 34.5	△ 18.9	△ 20.8	△ 29.5
2024年1～3月見通し	△ 28.8	△ 23.7	—	△ 24.5	—	—	△ 34.4	△ 22.7	—	—

産業別（2023年10～12月期）

	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
製造業	△ 32.6	△ 33.4	△ 26.5	△ 26.5	△ 6.2	△ 14.2	△ 36.7	△ 24.5	△ 25.7	△ 28.9
建設業	△ 18.9	△ 14.4	△ 5.4	△ 19.0	△ 9.1	—	△ 24.3	△ 8.1	△ 3.1	△ 62.2
卸売業	△ 5.9	△ 17.6	0.0	△ 25.0	△ 22.2	29.4	△ 23.5	△ 17.6	△ 14.4	△ 17.6
小売業	△ 41.3	△ 42.2	△ 39.0	△ 18.5	△ 37.8	3.1	△ 38.5	△ 28.1	△ 35.3	△ 2.0
サービス業	△ 21.7	△ 27.5	△ 26.9	△ 7.5	△ 15.9	—	△ 36.5	△ 14.0	△ 14.9	△ 34.6

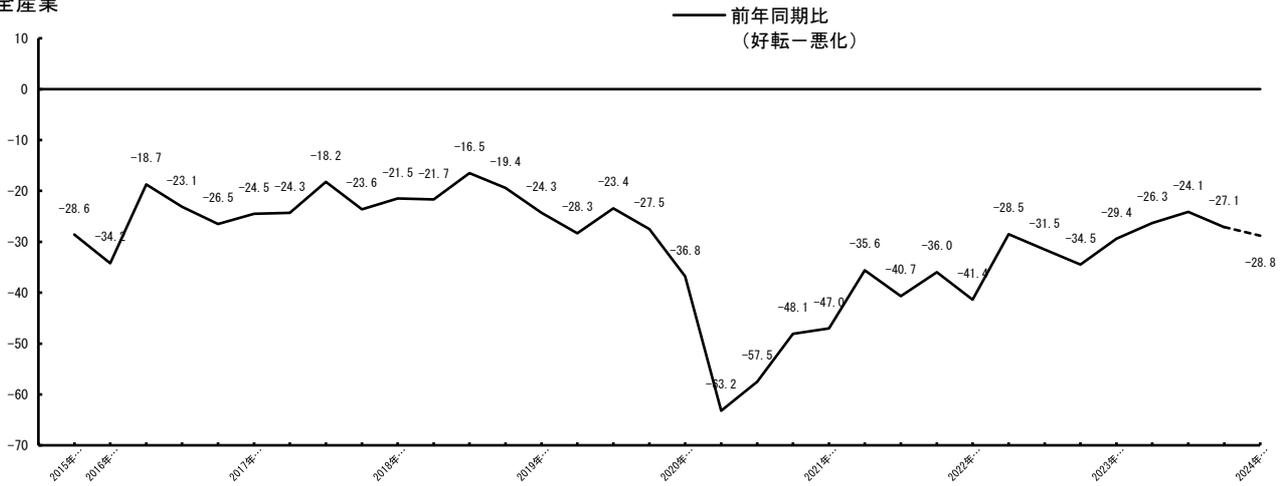
注：製造業の輸出額DI（前年同期比）は △ 16.7 生産設備過不足DI（今期の水準）は △ 10.4

産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移  
(2021年1～3月期～2023年10～12月期)



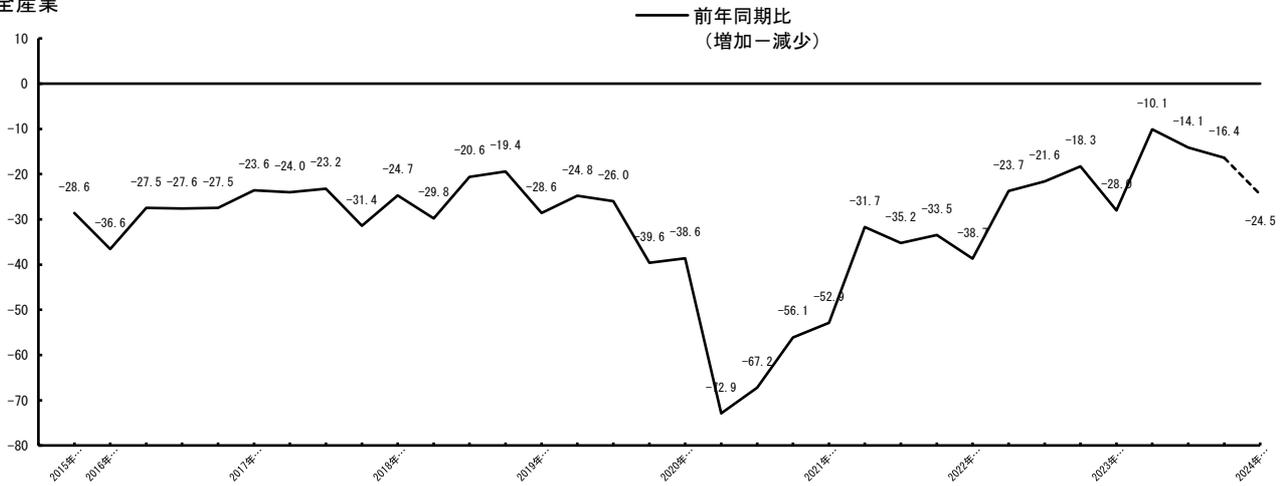
### 業況判断の動向 (D I)

全産業



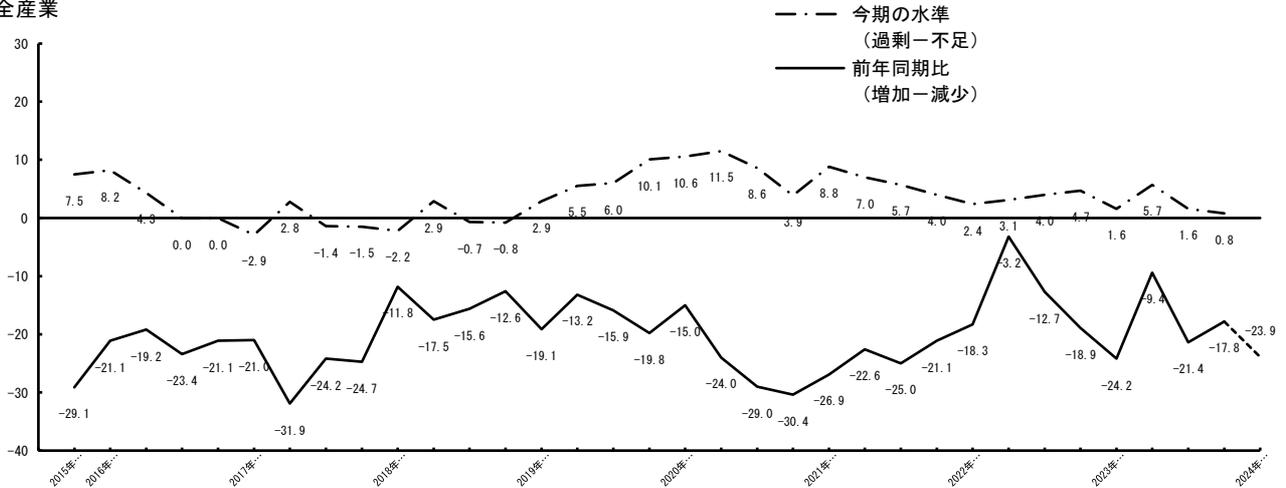
### 売上額の動向 (D I)

全産業

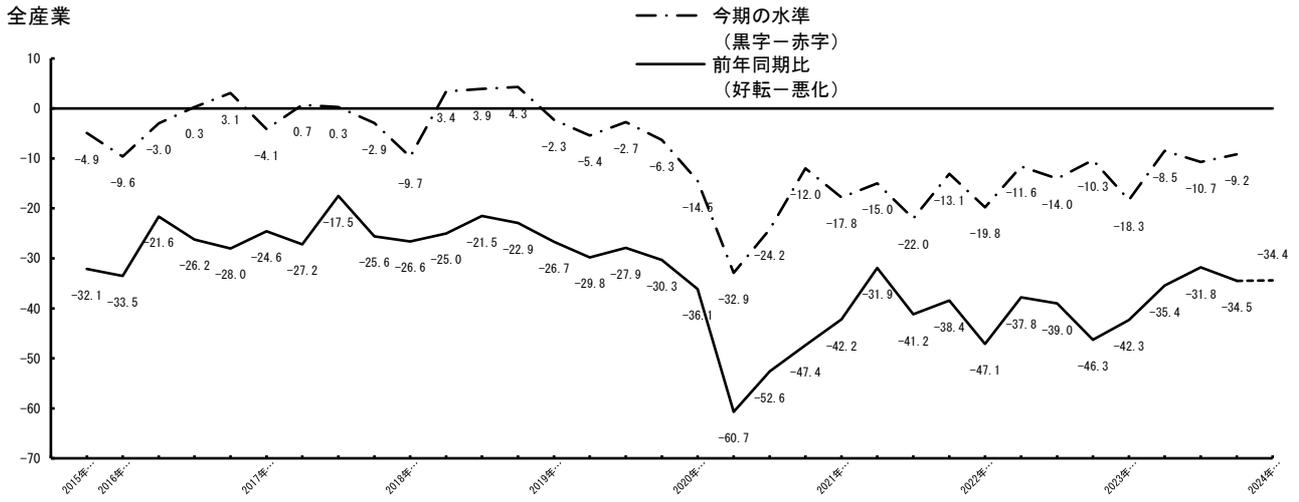


### 製品・商品在庫の動向 (D I)

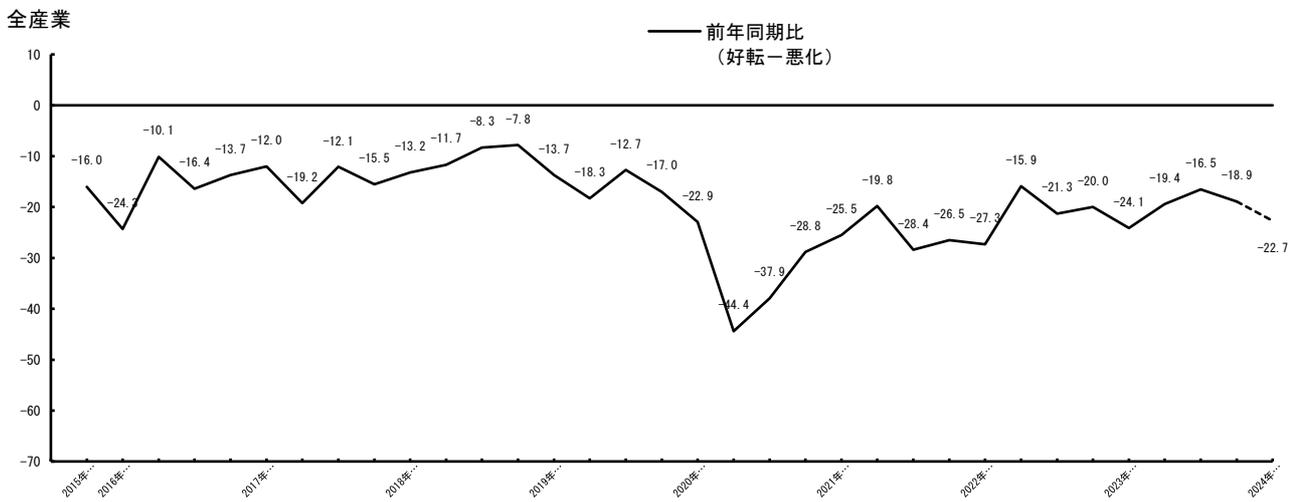
全産業



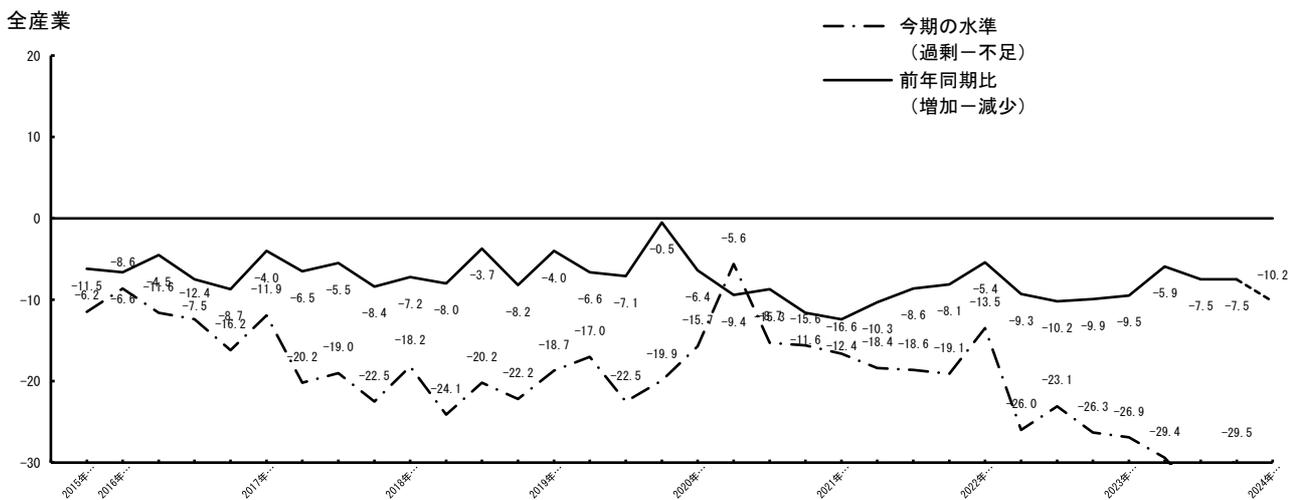
### 経常利益の動向（D I）



### 資金繰りの動向（D I）



### 従業員数（臨時・パート等を含む）の動向（D I）



業況判断D I (「好転」 - 「悪化」)

		実 績					来期見通し
		2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2024年 1~3月期
全 産 業	前年同期比	△ 34.5 ( △ 26.8 )	△ 29.4 ( △ 29.8 )	△ 26.3 ( △ 25.9 )	△ 24.1 ( △ 23.3 )	△ 27.1 ( △ 21.9 )	△ 28.8
	[前期比・季調済]	[ △ 30.6 ] ( △ 27.2 )	[ △ 25.4 ] ( △ 26.9 )	[ △ 22.5 ] ( △ 19.6 )	[ △ 19.4 ] ( △ 20.1 )	[ △ 29.6 ] ( △ 19.9 )	[ △ 23.7 ]
製造業	前年同期比	△ 35.3 ( △ 35.3 )	△ 41.2 ( △ 34.0 )	△ 29.8 ( △ 28.0 )	△ 39.6 ( △ 23.0 )	△ 32.6 ( △ 34.0 )	△ 30.6
	[前期比・季調済]	[ △ 42.5 ] ( △ 37.9 )	[ △ 33.2 ] ( △ 38.0 )	[ △ 26.1 ] ( △ 36.2 )	[ △ 40.7 ] ( △ 22.1 )	[ △ 33.4 ] ( △ 22.4 )	[ △ 30.8 ]
建設業	前年同期比	△ 23.5 ( △ 20.6 )	△ 22.8 ( △ 32.3 )	△ 24.3 ( △ 22.9 )	△ 16.2 ( △ 21.6 )	△ 18.9 ( △ 10.8 )	△ 27.0
	[前期比・季調済]	[ △ 23.0 ] ( △ 25.9 )	[ △ 20.1 ] ( △ 27.9 )	[ △ 15.1 ] ( △ 10.3 )	[ △ 1.8 ] ( △ 10.6 )	[ △ 14.4 ] ( △ 20.3 )	[ △ 20.8 ]
卸売業	前年同期比	△ 11.1 ( △ 33.3 )	△ 33.3 ( 0.0 )	△ 37.5 ( △ 18.7 )	5.9 ( △ 30.7 )	△ 5.9 ( 17.7 )	△ 5.9
	[前期比・季調済]	[ △ 10.9 ] ( △ 27.4 )	[ △ 21.2 ] ( 7.2 )	[ △ 34.4 ] ( △ 15.7 )	[ △ 1.8 ] ( △ 33.9 )	[ △ 17.6 ] ( △ 0.8 )	[ △ 12.6 ]
小売業	前年同期比	△ 53.0 ( △ 32.8 )	△ 33.9 ( △ 35.9 )	△ 37.4 ( △ 30.7 )	△ 37.9 ( △ 26.6 )	△ 41.3 ( △ 33.3 )	△ 36.6
	[前期比・季調済]	[ △ 38.9 ] ( △ 28.9 )	[ △ 33.8 ] ( △ 35.8 )	[ △ 23.2 ] ( △ 12.0 )	[ △ 40.6 ] ( △ 30.0 )	[ △ 42.2 ] ( △ 26.9 )	[ △ 25.5 ]
サービス業	前年同期比	△ 29.3 ( △ 19.2 )	△ 21.5 ( △ 27.7 )	△ 16.0 ( △ 23.6 )	△ 14.9 ( △ 20.6 )	△ 21.7 ( △ 19.2 )	△ 27.5
	[前期比・季調済]	[ △ 24.7 ] ( △ 20.9 )	[ △ 20.4 ] ( △ 20.7 )	[ △ 18.4 ] ( △ 17.7 )	[ △ 5.3 ] ( △ 16.4 )	[ △ 27.5 ] ( △ 19.3 )	[ △ 20.9 ]

注：( )内は1期前における当期見通し

業況水準判断D I (「良い」 - 「悪い」)

	今 期 の 水 準				
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全 産 業	△ 34.0	△ 37.1	△ 23.6	△ 28.9	△ 25.0
製造業	△ 44.0	△ 45.1	△ 17.0	△ 45.8	△ 26.5
建設業	△ 29.4	△ 20.0	△ 27.1	△ 13.5	△ 5.4
卸売業	0.0	△ 33.3	△ 23.5	5.9	0.0
小売業	△ 49.2	△ 44.0	△ 42.2	△ 47.0	△ 39.0
サービス業	△ 25.8	△ 35.1	△ 12.8	△ 20.0	△ 26.9

売上額D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し
		2022年 10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2024年 1～3月期
全産業	前年同期比	△ 18.3 ( △ 23.5 )	△ 28.0 ( △ 23.6 )	△ 10.1 ( △ 20.7 )	△ 14.1 ( △ 16.0 )	△ 16.4 ( △ 17.4 )	△ 24.5
	[前期比・季調済]	[ △ 23.1 ]	[ △ 20.5 ]	[ △ 13.6 ]	[ △ 12.1 ]	[ △ 18.5 ]	[ — ]
製造業	前年同期比	△ 19.7 ( △ 11.3 )	△ 29.4 ( △ 29.2 )	4.2 ( △ 26.0 )	△ 29.1 ( △ 27.1 )	△ 26.5 ( △ 35.4 )	△ 14.3
	[前期比・季調済]	[ △ 41.7 ]	[ △ 20.9 ]	[ △ 18.3 ]	[ △ 20.1 ]	[ △ 6.2 ]	[ — ]
建設業	前年同期比	△ 26.6 ( △ 42.8 )	△ 28.7 ( △ 38.2 )	△ 35.2 ( △ 26.4 )	△ 16.2 ( △ 16.7 )	△ 19.0 ( △ 21.6 )	△ 27.0
	[前期比・季調済]	[ △ 26.4 ]	[ △ 25.4 ]	[ △ 7.7 ]	[ △ 11.2 ]	[ △ 9.1 ]	[ — ]
卸売業	前年同期比	21.0 ( 0.0 )	△ 27.7 ( 0.1 )	△ 17.7 ( 0.1 )	0.0 ( △ 23.6 )	△ 25.0 ( 0.0 )	△ 12.4
	[前期比・季調済]	[ 1.1 ]	[ △ 1.8 ]	[ △ 23.2 ]	[ 2.1 ]	[ △ 22.2 ]	[ — ]
小売業	前年同期比	△ 36.3 ( △ 30.2 )	△ 27.3 ( △ 34.4 )	△ 23.4 ( △ 22.7 )	△ 30.3 ( △ 14.0 )	△ 18.5 ( △ 21.2 )	△ 41.6
	[前期比・季調済]	[ △ 29.0 ]	[ △ 22.9 ]	[ △ 20.4 ]	[ △ 31.6 ]	[ △ 37.8 ]	[ — ]
サービス業	前年同期比	△ 9.7 ( △ 23.0 )	△ 27.7 ( △ 12.0 )	3.2 ( △ 18.1 )	3.2 ( △ 9.9 )	△ 7.5 ( △ 7.4 )	△ 19.2
	[前期比・季調済]	[ △ 13.7 ]	[ △ 26.5 ]	[ △ 3.2 ]	[ 4.0 ]	[ △ 15.9 ]	[ — ]

注：( ) 内は1期前における当期見通し

売上(加工)数量・客数の動向D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し
		2022年 10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2024年 1～3月期
製造業 売上(加工)数量	前年同期比	△ 35.2 ( △ 17.3 )	△ 41.3 ( △ 35.4 )	0.0 ( △ 23.6 )	△ 35.4 ( △ 29.2 )	△ 36.7 ( △ 29.2 )	△ 20.4
	[前期比・季調済]	[ △ 52.8 ]	[ △ 21.7 ]	[ △ 17.4 ]	[ △ 30.4 ]	[ △ 15.2 ]	[ — ]
小売業 客数	前年同期比	△ 51.5 ( △ 43.9 )	△ 40.8 ( △ 41.9 )	△ 30.3 ( △ 27.3 )	△ 43.2 ( △ 28.1 )	△ 43.1 ( △ 36.9 )	△ 44.6
	[前期比・季調済]	[ △ 42.7 ]	[ △ 33.5 ]	[ △ 32.0 ]	[ △ 47.0 ]	[ △ 39.5 ]	[ — ]
サービス業 利用客数	前年同期比	△ 23.9 ( △ 26.3 )	△ 26.6 ( △ 20.4 )	△ 11.0 ( △ 21.5 )	△ 6.3 ( △ 16.3 )	△ 18.1 ( △ 19.0 )	△ 23.4
	[前期比・季調済]	[ △ 25.2 ]	[ △ 25.1 ]	[ △ 17.1 ]	[ △ 5.1 ]	[ △ 10.9 ]	[ — ]

注：( ) 内は1期前における当期見通し

輸出額D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2024年 1~3月期
製造業	10.0 (△ 14.3)	9.1 ( 9.1)	0.0 ( 27.3)	0.0 ( 12.5)	△ 16.7 (△ 14.3)	△ 16.7

注：( )内は1期前における当期見通し

在庫水準判断D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	4.7	1.6	5.7	1.6	0.8
製造業	△ 9.1	△ 9.3	△ 4.9	△ 7.5	△ 14.2
卸売業	16.7	22.2	29.4	17.6	29.4
小売業	10.5	3.0	6.3	3.1	3.1

価格の動向

	仕入単価D I (「上昇」-「低下」)				
	前年同期比				
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	76.2	71.8	77.8	72.5	70.9
製造業	88.9	73.3	74.3	65.1	54.6
建設業	94.1	91.4	86.5	89.2	83.8
卸売業	88.9	83.3	94.1	82.4	82.4
小売業	69.3	65.2	81.1	74.9	75.4
サービス業	65.9	66.4	70.7	65.5	68.1

	売上単価D I (「上昇」-「低下」)					
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
全産業	前年同期比	1.8	2.7	12.2	9.3	0.0
	[前期比・季調済]	[△ 4.3]	[ 0.9]	[ 4.7]	[△ 2.9]	[△ 3.3]
製造業	前年同期比	29.4	21.6	31.3	27.1	12.3
	[前期比・季調済]	[ 19.5]	[ 15.7]	[ 23.5]	[ 7.1]	[ 14.8]
卸売業	前年同期比	68.3	64.7	58.8	64.7	68.6
	[前期比・季調済]	[ 44.3]	[ 40.3]	[ 51.2]	[ 34.0]	[ 48.2]
小売業	前年同期比	△ 27.3	△ 23.1	△ 4.7	△ 9.0	△ 18.5
	[前期比・季調済]	[△ 28.9]	[△ 17.0]	[△ 9.8]	△ 18.2]	[△ 24.5]
サービス業	前年同期比	△ 6.4	△ 1.0	5.3	3.2	△ 5.3
	[前期比・季調済]	[△ 9.0]	[△ 1.3]	[△ 4.3]	[△ 3.5]	[△ 8.5]

経常利益D I (「好転」－「悪化」)

	前 年 同 期 比					
	実 績					来期見通し
	2022年 10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2024年 1～3月期
全 産 業	△ 46.3 ( △ 37.0 )	△ 42.3 ( △ 40.0 )	△ 35.4 ( △ 35.6 )	△ 31.8 ( △ 28.4 )	△ 34.5 ( △ 35.7 )	△ 34.4
製 造 業	△ 42.0 ( △ 39.6 )	△ 45.2 ( △ 36.0 )	△ 37.5 ( △ 29.4 )	△ 35.4 ( △ 27.1 )	△ 36.7 ( △ 41.7 )	△ 34.7
建 設 業	△ 52.9 ( △ 47.1 )	△ 42.9 ( △ 42.4 )	△ 48.7 ( △ 42.9 )	△ 29.7 ( △ 36.1 )	△ 24.3 ( △ 32.4 )	△ 40.5
卸 売 業	△ 16.6 ( △ 38.9 )	△ 33.3 ( 6.2 )	△ 29.4 ( △ 25.0 )	△ 17.7 ( △ 29.4 )	△ 23.5 ( 5.9 )	△ 6.2
小 売 業	△ 58.5 ( △ 43.1 )	△ 35.4 ( △ 49.3 )	△ 43.8 ( △ 31.3 )	△ 39.9 ( △ 23.4 )	△ 38.5 ( △ 44.6 )	△ 38.4
サービス業	△ 43.5 ( △ 27.4 )	△ 47.3 ( △ 42.9 )	△ 24.5 ( △ 40.9 )	△ 27.7 ( △ 29.4 )	△ 36.5 ( △ 35.1 )	△ 33.7

注：( )内は1期前における当期見通し

金融の動向

		2022年 10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
資金繰りD I 「好転」－「悪化」	全産業	△ 20.0 [ △ 21.4 ]	△ 24.1 [ △ 19.8 ]	△ 19.4 [ △ 16.4 ]	△ 16.5 [ △ 15.9 ]	△ 18.9 [ △ 20.8 ]
	製造業	△ 16.0 [ △ 18.9 ]	△ 21.6 [ △ 18.9 ]	△ 18.8 [ △ 16.7 ]	△ 25.0 [ △ 25.3 ]	△ 24.5 [ △ 25.7 ]
長期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[ △ 12.5 ]	[ △ 9.5 ]	[ △ 9.3 ]	[ △ 7.5 ]	[ △ 8.7 ]
	製造業	[ △ 9.9 ]	[ △ 5.6 ]	[ △ 2.6 ]	[ △ 1.5 ]	[ △ 7.5 ]
短期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[ △ 8.4 ]	[ △ 8.7 ]	[ △ 8.6 ]	[ △ 6.9 ]	[ △ 5.1 ]
	製造業	[ △ 1.4 ]	[ 1.6 ]	[ △ 0.7 ]	[ △ 3.3 ]	[ 0.2 ]
借入金利D I 「上昇」－「低下」	全産業	[ 0.7 ]	[ 2.8 ]	[ △ 0.2 ]	[ 0.1 ]	[ 1.6 ]
	製造業	[ △ 1.6 ]	[ 2.2 ]	[ △ 4.7 ]	[ △ 1.4 ]	[ 1.7 ]

注：[ ]内は前期比(季調済)、それ以外は前年同期比

従業員数D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2024年 1~3月期
全産業	△ 9.9 ( △ 9.8 )	△ 9.5 ( △ 9.7 )	△ 5.9 ( △ 8.2 )	△ 7.5 ( △ 4.5 )	△ 7.5 ( △ 7.1 )	△ 10.2
製造業	△ 17.0 ( △ 10.2 )	△ 11.1 ( △ 13.0 )	△ 7.0 ( △ 8.7 )	△ 13.9 ( △ 4.6 )	△ 6.9 ( △ 9.1 )	△ 6.9
建設業	△ 21.9 ( △ 20.6 )	△ 21.2 ( △ 28.1 )	△ 5.6 ( △ 23.6 )	△ 16.2 ( △ 14.3 )	△ 18.9 ( △ 21.6 )	△ 27.0
卸売業	5.6 ( 0.0 )	△ 5.5 ( △ 5.9 )	△ 11.8 ( △ 6.3 )	5.8 ( △ 5.9 )	11.7 ( 0.0 )	0.0
小売業	△ 9.1 ( △ 7.7 )	△ 1.9 ( △ 5.6 )	△ 10.0 ( △ 3.9 )	△ 2.0 ( △ 8.0 )	1.9 ( △ 4.0 )	△ 5.8
サービス業	△ 5.1 ( △ 8.5 )	△ 9.5 ( △ 3.9 )	△ 1.3 ( △ 4.7 )	△ 6.3 ( △ 2.7 )	△ 12.9 ( △ 2.6 )	△ 9.1

注：( )内は1期前における当期見通し

従業員数過不足D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	△ 26.3	△ 26.9	△ 29.4	△ 34.3	△ 29.5
製造業	△ 32.7	△ 34.0	△ 35.7	△ 31.8	△ 28.9
建設業	△ 38.3	△ 52.9	△ 43.2	△ 62.2	△ 62.2
卸売業	△ 16.7	△ 11.1	△ 25.0	△ 23.5	△ 17.6
小売業	△ 19.6	△ 18.2	△ 17.6	△ 21.5	△ 2.0
サービス業	△ 24.4	△ 21.4	△ 27.8	△ 33.3	△ 34.6

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100）単位：％

	実 績					来期計画	
	2022年 10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2024年 1～3月期	
全 産 業	17.6	10.1	12.4	14.7	12.8	13.3	
製 造 業	12.2	4.2	12.5	8.3	6.2	4.2	
建 設 業	14.7	17.1	27.0	19.4	27.0	18.9	
卸 売 業	15.8	6.2	5.9	6.2	35.3	18.8	
小 売 業	16.7	4.6	7.8	15.6	6.5	8.2	
サービス業	22.6	15.1	10.8	17.0	10.6	18.1	

生産設備過不足感D I（「過剰」－「不足」）

	今 期 の 水 準				
	2022年 10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
製 造 業	△ 13.7	△ 11.8	△ 17.0	△ 6.5	△ 10.4

経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	原材料価格の上昇 29.5 ( 22.7 ) 〔 27.3 〕	需要の停滞 20.5 ( 22.7 ) 〔 18.2 〕	従業員の確保難 9.1 ( 6.8 ) 〔 11.4 〕	生産設備の不足・老朽化 6.8 ( 13.6 ) 〔 9.1 〕	人件費の増加 6.8 ( 4.5 ) 〔 2.3 〕
建設業	材料価格の上昇 36.1 ( 51.4 ) 〔 61.8 〕	従業員の確保難 22.2 ( 17.1 ) 〔 11.8 〕	人件費の増加 8.3 ( 0.0 ) 〔 2.9 〕	新規参入業者の増加 5.6 ( 2.9 ) 〔 0.0 〕	材料費・人件費以外の経費の増加 5.6 ( 2.9 ) 〔 5.9 〕
卸売業	人件費の増加 23.5 ( 6.2 ) 〔 11.8 〕	仕入単価の上昇 23.5 ( 37.5 ) 〔 29.4 〕	従業員の確保難 17.6 ( 25.0 ) 〔 5.9 〕	需要の停滞 11.8 ( 0.0 ) 〔 11.8 〕	大企業の進出による競争の激化 5.9 ( 0.0 ) 〔 0.0 〕
小売業	仕入単価の上昇 29.3 ( 28.8 ) 〔 26.2 〕	大・中型店の進出による競争の激化 15.5 ( 16.9 ) 〔 6.6 〕	購買力の他地域への流出 13.8 ( 8.5 ) 〔 16.4 〕	需要の停滞 13.8 ( 6.8 ) 〔 14.8 〕	同業者の進出 5.2 ( 5.1 ) 〔 0.0 〕
サービス業	材料等仕入単価の上昇 20.0 ( 29.4 ) 〔 23.0 〕	利用者ニーズの変化への対応 14.1 ( 8.2 ) 〔 12.6 〕	人件費以外の経費の増加 12.9 ( 11.8 ) 〔 12.6 〕	従業員の確保難 10.6 ( 8.2 ) 〔 11.5 〕	大企業の進出による競争の激化 8.2 ( 7.1 ) 〔 6.9 〕

注： ( ) 内は前期構成比  
〔 〕 内は前々期構成比 いずれも問題点の1位にあげた企業の割合